



まずは行動

全国日蓮宗青年会長

塩田義照

新たな年を迎え多くの人が昨年を振り返り、今年の抱負を語る。SNSの普及で個人が発信する時代となった。私たち全国日蓮宗青年会はというと、コロナ禍のなかで発足、できることを一つひとつやってきたというのが現状だ。全国組織というと、どうしてもトップダウンの組織だと思われるが、実際はそんなことはなく、アメリカ

映画の『オーシャンズ11』のようにプロジェクトごとにそれぞれ得意分野を持ち寄って集まり、仕事が終わるとそれぞれの生活へ戻っていくといった感じで、全国各地の会員と協力し合いながら活動を進めている。「マシユマロ・チャレンジ」というものをご存知だろうか？ 茹でていないスパゲッティ20本、90センチのテープとひ

ためらいなく新しいつながりを求めて

もを使い、できるだけ高い構造物を作る。そのつべんにマシユマロを置く。4人1組、18分間で行う単純な課題だが、興味深いのはその参加者が多岐にわたることだ。会社のCEOを集めたグループ、ビジネススクールの学生から幼稚園児までが同じ条件で競う。にわかには信じがたいことも知れないが、建築家を除く多くの大人たちを差し置いて、幼稚園児のチームは平均して66センチの塔を作り上げた。ちなみに学生チームは平均して25センチに満たなかったそうだ。

ここで注目したいのは、子どもたちが手を動かし続けたということ、誰がリーダーであるとか、誰のアイデアが優れているとか関係なく純粹に目的に向かって作業に没頭したことが、チームとしてポジティブな結果を残せた理由でもある。

彼らの動きにためらいはない。やってみて問題があればすぐに手助けをする。挑戦し、失敗から学び、解決策を見つけて出す。個々の能力は劣っていても、チームとして結果を出すその姿に私たち青年僧を重ねずにはいられない。

日蓮聖人降誕800年のご正当の年を迎えた今、先の映画のように多様性を活かし、子どもたちのようにまずは行動し、挑戦していきたい。そうすることで「新しいつながり」が生まれ、新しい時代をつくっていくのだ。挑戦しよう！